

「植物の栄養研究会」

第9回研究交流会



日程：2024年9月24日（火）13:00（受付開始 12:00）～25日（水）12:30

会場：理化学研究所横浜キャンパス交流棟ホール

参加費：1,000円、学生無料

【会場案内】

理化学研究所横浜キャンパス交流棟ホール

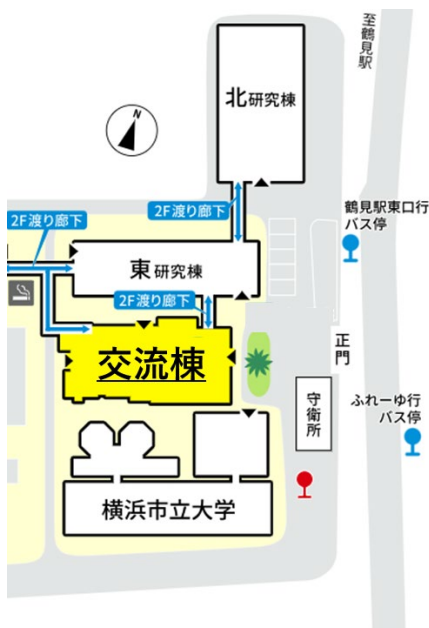
<https://www.yokohama.riken.jp/access/index.html>

JR・京急鶴見駅 東口バスターミナル8番乗降口より

川崎鶴見臨港バス（鶴08系統）「ふれーゆ」行き「理研・市大大学院前」下車 徒歩1分

入所時、正門横守衛所にて下記の入構許可証を印刷（またはスマートフォン等画面に表示）したものを、必ずご提示いただきますよう、お願い申し上げます。

交流棟への出入りの際は、理研職員（林研メンバー）による自動ドアの開閉が必要となります。ご不便をお掛けして申し訳ありませんが、お気軽にお声掛け下さい。



【受付および参加費・懇親会費の支払い】

- ・交流棟ホール入り口付近にある受付にて、参加受付を行ってください。
- ・参加費（一般・1,000円、学生無料）、懇親会費（一般・4,000円、学生・3,000円）を現金にてお支払い下さい。

【会場内での飲食について】

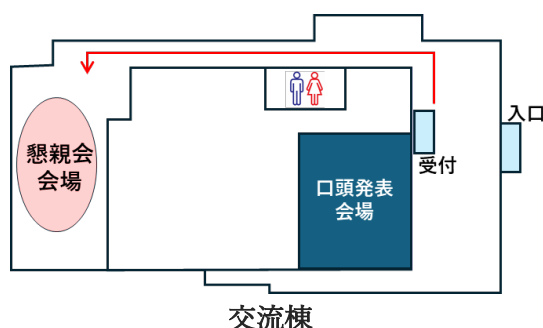
口頭発表会場内では、飲食禁止となっておりますが、ペットボトル入りの水のみは許可されております。その他のご飲食の際は、会場前のエントランスロビーをご利用下さい。

【Wi-Fi】

会場では『eduroam』もしくは『RIKEN Guest』、が利用可能です。eduroam参加機関に所属の方は、各機関で取得したIDとパスワードでご利用ください。『RIKEN Guest』には、Yahoo IDやGoogle IDなどを使って接続が可能です。

【懇親会】

24日 18:30より、理研横浜キャンパス交流棟 1F カフェスペースにて行います。参加には、事前申し込みが必要となります（9/11㊦切）。終了後、鶴見駅行きのバスに限りがありますので、お気をつけください。



17	03	08	13	19	25	33
	41	49	57			
18	05	13	21	29	37	45
	55					
19	05	15	25	42		
20	02	22	42			
21	02	42				
22	22					
23						

理研前→鶴見駅東口行バス時刻表

【幹事会】

25日 12:30より、中央棟 C218/220 セミナー室にて行います。会場まで、ご案内いたしますので、交流会終了後、口頭発表会場にてお待ち下さい。

【問い合わせ】

理化学研究所・林誠：makoto.hayashi@riken.jp

理化学研究所・赤松明：akira.akamatsu@riken.jp

【研究交流会プログラム】

9月24日（火）

12:00	受付開始
13:00	開会の挨拶
13:05	口頭発表 第1セッション
13:30	
13:55	
14:20	コーヒースタイル
14:35	口頭発表 第2セッション
15:00	
15:25	
15:50	コーヒースタイル
16:05	口頭発表 第3セッション
16:30	
16:55	
17:20	写真撮影
17:30	ポスター発表 奇数番号
18:00	ポスター発表 偶数番号
18:30	懇親会
20:30	終了

9月25日（水）

9:00	受付 & 開場
9:30	口頭発表 第4セッション
9:55	
10:20	
10:45	コーヒースタイル
11:00	口頭発表 第5セッション
11:25	
11:50	
12:15	表彰式
12:30	幹事会

【口頭発表】

- ・口頭発表は発表 20 分、質疑応答 5 分です。
- ・発表には、ご自身の PC をお持ちください。接続用の HDMI ケーブル、レーザーポインターは、会場のものを使用いただけます。

9 月 24 日 (火)

第 1 セッション 13:05～14:20

座長 林 誠

13:05～13:30

- 1 植物のマグネシウム輸送と気孔開口制御
井上 晋一郎, 埼玉大学大学院 理工学研究科

13:30～13:55

- 2 ポラリトームで栄養素輸送体が偏在する仕組みを解き明かす
吉成 晃, 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所

13:55～14:20

- 3 ホウ酸トランスポーターによるホウ酸輸送とセンシング
高野 順平, 大阪公立大学大学院 農学研究科

コーヒーブレイク 14:20～14:35

第 2 セッション 14:35～15:50

座長 三輪 京子

14:35～15:00

- 4 高湿度環境における植物と葉内細菌の相互作用
安田 盛貴, 奈良先端科学技術大学院大学

15:00～15:25

- 5 根粒菌感染制御におけるフォスファチジルイノシトールの役割
赤松 明, 理化学研究所

15:25～15:50

- 6 体内の窒素状態に応じて植物が根粒菌に鉄を供給する仕組み
壽崎 拓哉, 筑波大学生命環境系

コーヒーブレイク 15:50～16:05

第3セッション 16:05～17:20

座長 下嶋 美恵

16:05～16:30

- 7 OsNLP4 シグナルがイネの根圏細菌叢に及ぼす影響
安田 美智子, 東京農工大・GIR 研究院

16:30～16:55

- 8 ネットワーク解析から考える野生イネの低栄養応答
大森 良弘, 東京大学大学院農学生命科学研究科

16:55～17:20

- 9 転写抑制因子群による窒素応答制御の仕組み～LBDs と NIGT1s の比較～
木羽 隆敏, 名古屋大学・生命農学研究科

9月25日(水)

第4セッション 9:30～10:45

座長 榊原 均

9:30～9:55

- 10 効果的なゲノムワイド関連解析 (GWAS) 活用を目指したツール開発とその応用
菅波 眞央, 福島大学食農学類附属発酵醸造研究所

9:55～10:20

- 11 マルチオミクス解析から農業デジタルツイン開発へ
市橋 泰範, 理化学研究所

10:20～10:45

- 12 サンゴ栽培によるトマト高糖度化の研究～低リンストレスと糖度向上との新しい
関係
溝井 順哉, 東京大学大学院農学生命科学研究科

コーヒーブレイク 10:45～11:00

第5セッション 11:00～12:15

座長 藤原 徹

11:00～11:25

- 13 極限環境に生育する小葉類植物のストレス耐性
和崎 淳, 広島大・院・統合生命

11:25～11:50

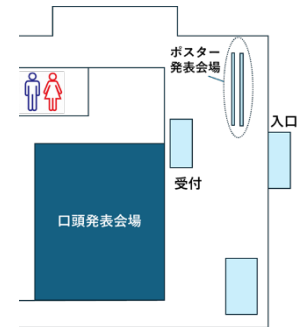
- 14 植物の窒素充足応答
蜂谷 卓士, 島根大学

11:50~12:15

- 15 細胞動態の精密計測による栄養条件に応答した根の成長調節機構の解析
郷 達明, 奈良先端科学技術大学院大学

【ポスター発表】

- ・ポスター掲示 24日 12:00~13:00
- ・ポスター撤収 25日 10:45~11:00 (コーヒーブレイク時)
※ポスター設置のための留め具は、会場に用意してあります。
- ・奇数番号 24日 17:30~18:00
偶数番号 24日 18:00~18:30
- ・*は、ポスター賞の有資格者を示してあります。



- * P1 サイトカイニン受容体 AHK3 を介した根から葉へのサイトカイニン輸送と成長制御
門田 宏太, 島根大学 自然科学研究科
- * P2 炭素供給に着目したリン濃度依存的な共生関係制御メカニズムの探索
渡邊 大祐, 東京大学大学院 総合文化研究科 **優秀ポスター賞!**
- * P3 The root endophytic fungus *Colletotrichum tofieldiae* enhances plant growth and fitness under nitrogen deprivation through multiple strategies
Nguyen Nhi, The University of Tokyo
- * P4 植物の低ホウ素耐性におけるスフィンゴ脂質の機能解析
松井 詩倫, 立命館大学大学院 生命科学研究科
- P5 ストリゴラクトンは近隣植物の生育に影響を与える?
米山 香織, 埼玉大学
- * P6 ホウ酸トランスポーターBOR1 の構造変化によるホウ素感知機構の解析
細川 愛乃, 大阪公立大学大学院 農学研究科
- * P7 窒素欠乏条件がシロイヌナズナのストリゴラクトン生合成に与える影響
崎岡 莉子, 埼玉大学大学院

- * P8 窒素栄養に応答してストリゴラクトンを分泌するオオムギと AM 菌との関係
井上 舞子, 埼玉大学大学院 理工学研究科
- * P9 シロイヌナズナ培養細胞のクロマチン構造に対するホウ素の影響
日高 梨奈, 神奈川大学 理学部理学科
- * P10 シロイヌナズナにおける致死性グルタチオン分解変異の解析
伊藤 岳洋, 東京農工大学大学院 連合農学研究科
- * P11 シロイヌナズナ bor1-1 抑圧変異体#156 の原因遺伝子の同定 -変異型ホウ酸輸送体
BOR2 の解析-
徳永 陽, 北海道大学大学院 環境科学院
- * P12 DEFL ペプチドのシロイヌナズナ変異体の根が長くなる原因の解明
加藤 諒佑, 立命館大学大学院 生命科学研究科
- P13 コケ植物におけるリン酸欠乏条件下での脂質転換
下嶋美恵, 東京工業大学 生命理工学院
- * P14 植物の根は亜鉛欠乏による浸透圧ストレス回避のためにデンプンを蓄積する可能性
がある **優秀ポスター賞!**
林 竜史, 立命館大学
- * P15 Genome wide association studies to discover candidate genes for nutritropism in
Japonica rice
Md. Nashir Uddin, Lab. of Plant Nutrition and Fertilizers, The University of Tokyo
- P16 Boron treatment increases plant defense against insect herbivores
反田 直之, 大阪公立大学
- * P17 リン枯渇応答制御因子 PHR1 を介した真菌感染の制御機構
石原 大雅, 奈良先端科学技術大学院大学
- * P18 超耐酸性植物ミズスギにおける個体・組織レベルの元素分布
廉 明德, 広島大学 総合科学部 **優秀ポスター賞!**

- * P19 Enhancing Foliar Urea Uptake: Optimizing Application and Understanding Molecular Mechanisms in *Arabidopsis thaliana*
Raj Kishan Agrahari, The University of Tokyo

- * P20 マメ科植物の一価カチオン吸収・分配・蓄積における根粒の影響
村島和基, 北海道大学 農学院

- * P21 クラスタ根の形態の違いによるリン獲得戦略の比較
山田大綱, 広島大院 統合生命 **優秀ポスター賞!**

- * P22 アフリカイネ断片ゲノム導入により獲得した低リン耐性機構の共発現ネットワーク解析
松永幸子, 東京大学大学院 農学生命科学研究科 **最優秀ポスター賞!!!**

- * P23 イネのリン応答遺伝子の発現における硫黄の関与
山田郁絵, 北海道大学 農学院